

平成 25 年度歴史資料館事業報告

《自然史歴史講座・企画展・資料館展示》

行 事 名	年 月 日	参加者数	内 容
第 1 回自然史・歴史講座 【バス利用】	6 月 1 日 (土)	2 1 人	「鹿部山から探る古代の古賀」 鹿部山周辺の史跡等を見学
第 2 回自然史・歴史講座 講師：植田 謙一 氏 (古賀郷土研究会会長)	8 月 4 日 (日)	6 3 人	演題「古賀の近代化はここから 始まった」＝路傍の石碑、先人 の知恵に学ぶ＝
第 3 回自然史・歴史講座	8 月 20 日 (火) 21 日 (水)	1 2 人	「永浦古墳から出土した眉庇 付冑をつくろう」身近なもので 眉庇付冑レプリカを作成
第 4 回自然史・歴史講座 【バス利用】	10 月 10 日 (木)	2 4 人	「黄泉国幻想 装飾古墳への 誘い」筑紫野市とうきは市の装 飾古墳を見学
第 5 回自然史・歴史講座 【バス利用】	11 月 30 日 (土)	2 4 人	「唐津街道をたどろう」新宮町 の太閤水から赤間宿まで散策
合 計		1 4 4 人	

行 事 名	期 間	来館者数	内 容
企画展	7 月 26 日 (金) ～ 8 月 25 日 (日)	1, 407 人	「石碑のつぶやき」

平成 25 年 3 月に発見された船原古墳遺物埋納坑の発掘情報パネル展を、サンフレアこが 2 階ギャラリー・資料館内で実施。船原古墳遺物埋納坑は未盗掘状態で、馬具をはじめとして多くの遺物が発見されている。中でも金銅製歩揺付飾金具は、六角形の透かし入りの金属板と、その上に幾何学的に配置された複数の歩揺付金具が組み合わされており、このような華やかで美しいデザインはこれまでに出土例がない。九州歴史資料館にて金銅製歩揺付飾金具を X 線 CT スキャナ撮影し、そのデータから推測して立体に表した試作品を展示するなど、新たな調査結果の情報提供を行った。

このほか、平成 24 年度 25 年度に寄贈いただいた資料を中心に、小規模展示を実施。

《通年の活動》

○広報業務

平成25年4月から平成26年3月まで広報こが紙面において、展示内容の変更や企画展の内容、自然史・歴史講座のお知らせなどを掲載。企画展については市内公共施設等にポスターを掲示。

企画展リーフレット「石碑のつぶやき」PDFファイルなどをホームページに掲載。

○職員研修

近隣の歴史資料館等を視察見学。県主催研修に参加。

○教育普及業務

児童・生徒の教科学習や就業体験、一般団体の見学を受入れた。

また、低年齢層に郷土の文化財や民具に興味を引いてもらえるよう、市指定文化財や民具の写真を用いてパズルを作成した。写真だけでなく資料の説明文（読み仮名あり）を加えパズルも作成し、小学生低学年であっても遊びながら学べるよう工夫した。パズルは複数でも遊べる素材のため、親子が語り合いながら学ぶ姿も見受けられた。

○刊行物

企画展リーフレット「石碑のつぶやき」1,000部、「れきしのアルバム」第3号改訂版500部

○所蔵資料整理業務

古賀市教育委員会所蔵の古文書を後世継承のためデジタル化を行い保存に努めた。

資料館内の展示資料を選定し直すとともに館内の動線を見直し、車椅子・ベビーカーでも見学しやすいよう館内を点検した。

○資料収集整理活動

平成25年度の寄贈者は5人。寄贈資料は、清水家資料・川嶋家資料・えびす鬼瓦・手回し式計算機・井上泰幸氏資料。清水家資料は立花道雪関係の古文書のほか側室・色姫のものと伝えられてきた着物の端切れなど。川嶋家資料は、川嶋城山校関連の資料で、私塾で使われていた教科書や書類などが寄贈された。どちらも郷土史にとって重要な資料である。井上泰幸氏資料は、特撮映画美術監督であった井上氏の文具やジオラマなど。

所蔵資料整理業務でも記載しているが、古文書を後世継承のためデジタル化しており、この事業は平成24年度から開始し、撮影されたデジタルデータを一般に公開（閲覧）できるよう整理・整備に取り組んだ。

また、地域ごとに行われてきた行事や民具の使い方などを、地域の高齢者にうかがった。地域の昔の事柄を覚えておられる方が少なくなりつつあり、郷土史料（資料）として保存できるよう情報収集を行った。